皆さんとともに大阪南の地域医療を支える広報誌　南窓

MINAMI MADO

2026.11. No.75

独立行政法人 国立病院機構　大阪南医療センター
National Hospital Organization Osaka Minami Medical Center

独立行政法人 国立病院機構
大阪南医療センター

大阪南医療センター 循環器疾患センター

胸背部痛、呼吸困難、動悸等
循環器疾患が疑われる際には
緊急対応連絡先へご連絡ください。

24時間緊急対応（ハートコール）

直通 TEL：0721-53-3200

Instagramはこちら ▶

LINEはこちら ▶

理 念

私たちは、皆さまの生命と健康を守るため、
最良の医療を行い、安心と満足を提供できるよう努めます。

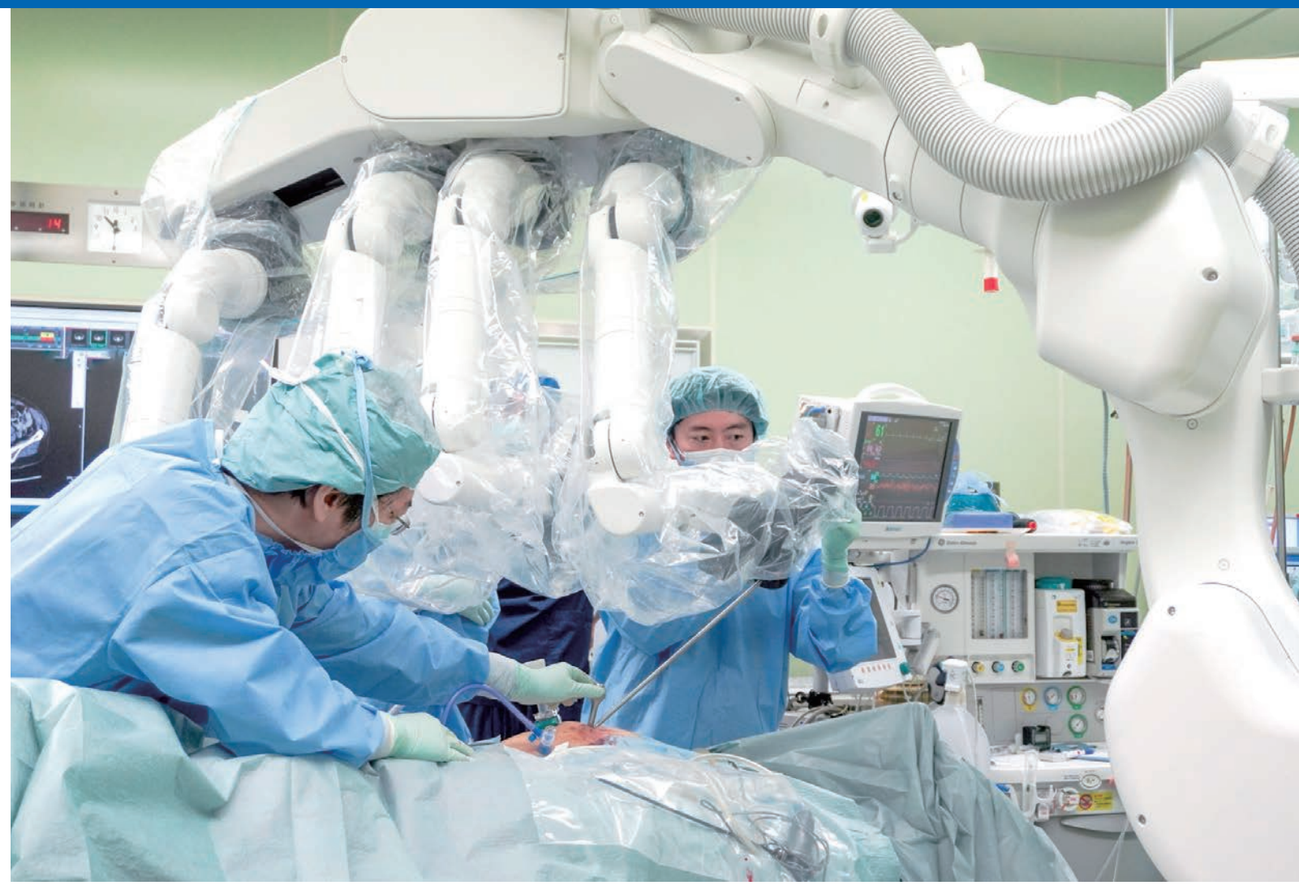
運営の基本方針

1. 医学・医療の研鑽を積み、知識・技術を高め、医療の質向上を目指します。
2. 人権を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を行います。
3. 地域の医療機関と連携し、地域のニーズにあった医療を目指します。
4. 医学・医療の発展に向け、積極的に臨床研究を行います。
5. 良質な医療従事者を育成するため、教育研修事業を行います。
6. 健全な病院運営を目指し、継続的に取り組みます。

地域医療支援病院 | 地域がん診療病院
独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター
〒586-8521 大阪府河内長野市木戸東町2-1　Tel.0721-53-5761　Fax.0721-53-8904
https://osakaminami.hosp.go.jp

国産手術支援ロボット hinotori™消化器外科手術が軌道に乗りました。

昨年3月に国産手術支援ロボット“hinotori™“を導入し、わずか2か月後の5月に第1例目を実施しました。そして、開始後１年弱でロボット消化器外科手術件数が100件（胃・結腸・直腸・肝臓・膵臓）を超え、国内屈指のhinotori™病院へと成長を遂げました。



2026年6月より、日本肝胆膵外科学会「高度技能専門医修練施設（B）」の認定を受けました。

高度技能専門医修練施設は、日本肝胆膵外科学会が定める制度で、「肝胆膵外科領域における高度な専門技術を、若手肝胆膵外科医に対し安全かつ体系的に教育・提供できる施設」を認定するものです。

修練施設として認定されるためには、以下の３つの条件を満たす必要があります。

❶ 日本消化器外科学会の指定する修練施設であること

❷ 高度技能指導医または専門医が１名以上常勤していること

❸ 高難度肝胆膵外科手術を一定数以上実施していること（年間50例以上：修練施設A、30例以上：修練施設B）

この条件のうち、特に❸の基準を満たすことができる施設は限られております。

さらに、手術に関する記録（手術所見）や術後合併症の有無、在院日数などの手術成績も審査対象となり、質の高い治療を有する施設のみが認定されます。

したがって、本制度は、「若手肝胆膵外科医を良質な環境で教育できる施設」ということを認定するだけでなく、「高難度の肝胆膵外科手術を安全に提供できる施設」であることを保証するものといえます。

当院が位置する南河内医療圏では、2025年までは近畿大学病院が修練施設Aとして存在していましたが、同院の移転（堺医療圏への移転）に伴い、南河内医療圏で唯一の認定修練施設となりました。

消化器外科医長
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
上野　昌樹

修練施設で手術を受ける意義として、肝胆膵外科手術は非常に難易度が高く、術後合併症の発生率も消化器外科の手術の中で高いことが知られています。そのため、経験豊富な修練施設で手術を受けることは、合併症の軽減につながり、万一合併症が発生した場合でも、豊富な知識と経験に基づき重症化を回避できる可能性が高まります。

これは、手術を受けるにあたって、患者さんにとって、重要な選択肢の一つとなります。

当院は、“消化器外科手術を大阪南医療センターで受けたい病院” をモットーに、これからも引き続き、肝胆膵疾患の手術が必要な患者さんに対し、安全・確実な手術治療をご提供できればと考えております。